

2026年度 展覧会情報

企画展 山路智恵の 東京百景 × 筆から生まれた魚たち

会期／ 2026年5月1日(金) - 11月30日(月)

会場／ 1号館2階展示室

山路智恵が4年かけて東京の名所をかいたプロジェクト「東京百景」の中から、約25点をピックアップ。また、子どものころからかき続けてきた「魚」「貝類」など、海の生きものたちを優しい視点で捉えた絵手紙約15~20点を展示。



← ↑ 1997年

特別公募企画展 21世紀の絵手紙展

会期／ 2026年5月1日(金) - 11月30日(月)

会場／ 2号館2階展示室

新世紀のスタートから25年が経ち、時代は平成から令和へ、インターネットやAIの普及で私たちの暮らしもずいぶん変わりました。

昨年、この25年間の出来ごとや今の思いなどをつづった絵手紙を募集したところ、約1200点が集まりました。それらを会場で全点展示いたします。

また、20世紀を生きた人々の記録として2004年に書籍化された『絵手紙万葉集』より、第5巻「あそびとスポーツ」に掲載された絵手紙も、あわせて同会場に展示。

企画展 池田亮二 一日一枚ニュースな絵手紙

会期／ 2026年5月1日(金) - 11月30日(月)

会場／ 本館2階展示室

日々のニュースをユーモラスに綴った時事絵手紙を展示。



「21世紀の絵手紙」より



絵手紙万葉集より「あそびとスポーツ」



池田亮二



絵手紙を通じて、人々の日常や文化を未来へ伝えていくことを目的に活動しています。

館内施設

【1階】

受付／売店／常設展示室(昭和の懐かしい道具や部屋を再現したスペース)／本館1階展示スペース／無料絵手紙体験コーナー

【2階】

本館2F展示室／1号館2F展示室／2号館2F展示室
トイレ・多目的トイレ／多目的室(休憩スペース)

【3階】

絵手紙収蔵室(一般の方の立ち入り不可)

◎駐車場100台以上完備(大型バス駐車可)

◎エレベーターあり ◎車椅子1台完備

【嬉しい特典】

入館いただいた方はもれなく、無料で「オリジナルしおり」作りが体験できます!



栄村国際 絵手紙タイムカプセル館

2007年7月

長野県栄村にオープン。

2000年に日本絵手紙協会が「20世紀忘れられないよ、こんにちは21世紀」と題して国際的に募集した絵手紙(最終的な応募数は国内外から約63万通)を永久収蔵する目的で建設されました。

その後、企画展・公募展などで集まった絵手紙をあわせると、現在約120万通余りが、このタイムカプセル館に保管されています。



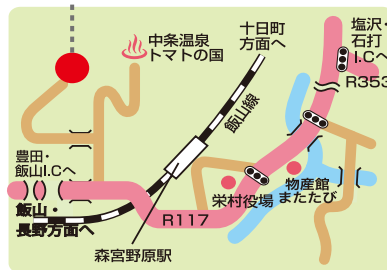
上／「祈りの像」
(彫刻家・島津よしのり作)
タイムカプセル館入口で出迎えるのは、全国でも類を見ない、二本の巨大彫刻の柱。
下／タイムカプセル館(外観)
中央の本館が1号館と2号館に挟まれ、両翼を広げて未来へ飛び立つようなイメージで設計されている。
左上／山側からみた全景
自然豊かな立地。春から秋は周辺のスケッチもおすすめ。豪雪地のため、冬は銀世界へと一変する。

美術館のごあんない&アクセスMAP

- 開館時間／午前10時～午後5時（入館は閉館の30分前まで）
 - 休館日／土日祝日・冬期休業（12月～4月）
 - 入館料／タイムカプセル館・山路智恵絵手紙美術館
共通券 一般500円 小中高生300円
※団体10名様以上300円（小中高生150円）
※各種割引あり
 - 交通／電車⇒JR飯山線「森宮野原」よりタクシー5分
お車⇒関越道・塩沢石打ICより約60分
上信越道・豊田飯山ICより約45分
- ☆前日までに見学予約をいただくと、もれなく記念品をプレゼント！

ご入館証(スタンプ欄)

栄村国際絵手紙タイムカプセル館
(山路智恵絵手紙美術館)
さかえ倶楽部スキー



ホームページも
ご覧ください



〒389-2702 長野県下水内郡栄村北信2503
TEL 0269-87-1920 FAX 0120-5562-03
URL <http://www.etegami-timecapsule.net>

山路智恵絵手紙展

東京百景 × 筆から生まれた魚たち

2026年は、山路智恵が4年かけて東京の名所をかいたプロジェクト「東京百景」の中から、約25点をピックアップして展示します。

「東京百景」以外には、山路智恵が子どものころからかき続けてきた「魚」「貝類」など、海の生きものたちを優しい視点で捉えた絵手紙約15～20点を展示。生き生きとした筆運びとポップな言葉づかいに魅了されます。

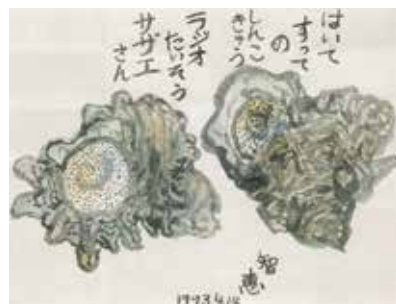
ぜひ会場に足をお運びください。



Tenth Heaven 1995年



1992年



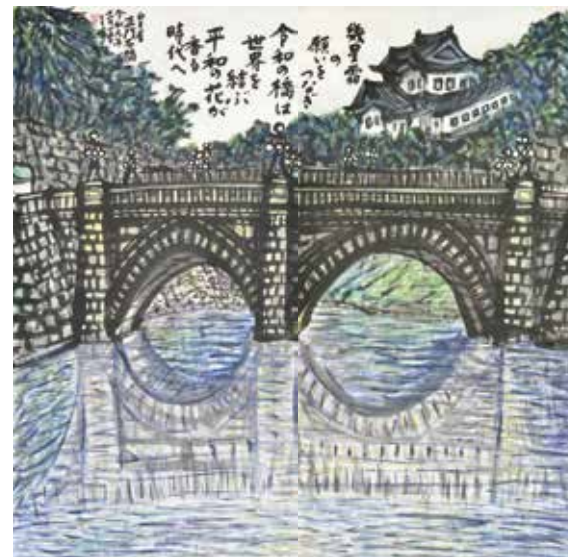
1993年

山路智恵 (やまじ・ともえ) Yamaji Tomoe



1981年東京生まれ。
仕事を持つ母が、子どもとの思い出作りにと絵本の読み聞かせから始まった絵手紙は、小学校入学式の日から一日も休まず小池邦夫氏宛に投函。小学6年生の9月には連続2000日を達成。幼少期から現在まで、国内外での個展開催などをはじめ、各地で創作活動を続けている。

東京百景 2026年度展示作品より
100 Views of Tokyo 2026 Exhibition Contents



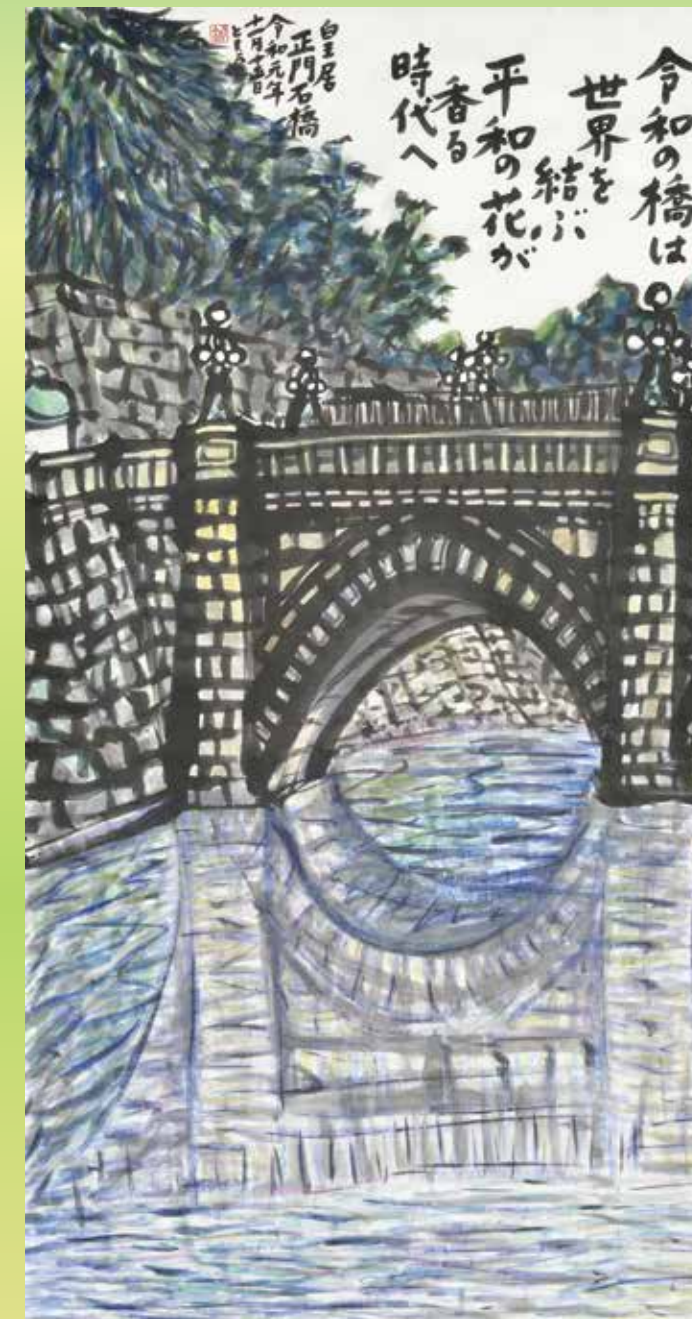
皇居正門石橋 (2019年11月) 180×90cm×2枚
Stone Bridge at the Main Gate of the Imperial Palace



深大寺・だるま市 (2017年3月) 180×90cm×2枚
Jindai-ji Daruma Market

栄村国際絵手紙タイムカプセル館

山路智恵絵手紙美術館



Etegami Time Capsule
Yamaji Tomoe Etegami Museum